

## 対日理解促進交流プログラム「JENESYS」 日 ASEAN ユースリーダー交流の記録（招へい）

### 1. プログラム概要

【目的】日 ASEAN 友好協力 50 周年を契機に、ASEAN 各国及び日本のユースリーダーが「地域の平和、安定、成長及び繁栄に対し何が出来るか」を共通テーマとして、アジア共通の諸課題（1 観光（開発）、2 インターネット（活用）、3 農業（食の安全）、4 労働（人材育成）、5 都市（開発））について日本の事例を学び、課題解決に向けた討論を通じて、日本と ASEAN 各国がどのように活動できるかを考え、行動宣言を作成します。これらの体験を通じて、日 ASEAN ユースリーダーの育成とネットワーク強化を図ることを主な目的としています。

なお、本プログラムは、日本 ASEAN 友好協力 50 周年認定事業の一環として、2023 年 2 月 21 日～2 月 28 日、ASEAN の大学生等を招へいして実施しました。

【オンライン及び招へい参加者】ASEAN 諸国、東ティモールの大学生等 計 181 名  
（招へい者）106 名<sup>（注）</sup>

（注）インドネシア（10 名）、カンボジア（9 名）、シンガポール（10 名）、タイ（10 名）、フィリピン（9 名）、ブルネイ（10 名）、ベトナム（10 名）、マレーシア（10 名）、ミャンマー（10 名）、ラオス（10 名）、東ティモール（8 名）

#### 【招へい者の訪問地】

グループ共通プログラム：東京（106 名）

グループ 1 《観光（開発）》：東京都、大阪府、京都府（20 名）

グループ 2 《インターネット（活用）》：東京都、大阪府、京都府（22 名）

グループ 3 《農業（食の安全）》：東京都、福島県（21 名）

グループ 4 《労働（人材育成）》：東京都、福島県（22 名）

グループ 5 《都市（開発）》：東京都、福岡県（21 名）

### 2. 日程

#### ■ 事前学習（オンライン）

2022 年 8 月 30 日（火曜日）（注）他のプログラムと合同実施

【アイスブレイク】日 ASEAN クイズ【ウェビナー】「日 ASEAN 関係」

2023 年 2 月 14 日（火曜日）

【オリエンテーション】【参加者間交流】

訪日前の個別学習 【動画視聴】「日本理解講義」、「ホームビジット体験」、「南三陸町からのメッセージ」、「日本文化理解（京都）」、「広島ピースツアー」、「日本語学習」、「ようこそ日本へ～日本の感染症対策～」 「日本 ASEAN50 年の歩み」

#### ■ 訪日プログラム

2 月 22 日（水曜日）成田国際空港又は羽田空港より入国【オリエンテーション】

【講義・質疑応答】「日本 ASEAN50 年の歩み」

講師：外務省アジア大洋州局地域政策参事官室首席事務官 矢澤英輝氏

【交流】外務省職員との意見交換会、【視察】浅草仲見世、浅草寺

2月23日（木曜日）【視察】東京大学キャンパスツアー

【基調講演・交流】若手リーダーとの意見交換会（グループ別プログラム）

グループ1《観光（開発）》：株式会社 Fun Group 代表 三木 健司氏

グループ2《インターネット（活用）》：東京学芸大学 教育支援協働実践開発専攻准教授  
遠藤太一郎氏「web3 と自立組織」

グループ3《農業（食の安全）》：国際協力機構（JICA）経済開発部農業・農村開発第一グループ  
第一チーム主任調査役 海外マリヤ氏「JICA の取り組み、東南アジアにおける事業  
ポートフォリオ」

グループ4《労働（人材育成）》：株式会社 Sun Asterisk（デジタル・クリエイティブ・スタジオ）  
カタリスト 広瀬光氏「株式会社 Sun Asterisk 社の紹介とアジアでの取り組み」

グループ5《都市（開発）》：国際機関日本アセアンセンター貿易投資クラスター・プログラム・マ  
ネージャー 田邊宙大氏

2月23日（木曜日）～ 2月27日（月曜日）5つのグループに分かれ、グループ1及び2は大阪  
府、京都府、グループ3及び4は福島県、グループ5は福岡県を訪問。2月27日（月曜日）に  
東京都へ移動。

グループ1：《観光（開発）》

【講義①】「地域の暮らしを支える観光」INDIGO LLC 代表 府川尚弘氏

【講義②】「2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）『TEAM EXPO 2025』プログラム」

講師：公益社団法人2025年日本国際博覧会協会機運醸成局企画部競争推進課係長  
奥田佳奈氏

【講義③】「アジア№1の国際観光文化都市・大阪を目指して」

講師：公益財団法人大阪観光局企画・マーケティング戦略部観光DX担当部長  
芦田真亜氏（グループ2と合同実施）

【講義④】「京都観光モラル策定の経緯とオーバーツーリズム解消への道筋」

講師：公益社団法人京都市観光協会（DMO KYOTO）DMO 企画・マーケティング  
専門官 堀江卓矢氏

【視察】大阪城、大阪市内

【ワークショップ】プログラム総括、アクション・プラン作成と報告会準備

グループ2：《インターネット》

【講義①】「デジタル世界における著作権」講師：一般社団法人 コンテンツ海外流通促進機構  
（CODA）プロジェクト担当部長 湯口太郎氏

【講義②】「日本におけるメタバースの現状と市場の将来性」

講師：クラスター株式会社代表 加藤直人氏

【講義③】「フェイクニュースと現代社会について」

講師：国際大学グローバルコミュニケーションセンター（GLOCOM）准教授

山口真一 氏

【講義④】「アジア No.1 の国際観光文化都市・大阪を目指して」

講師：公益財団法人大阪観光局企画・マーケティング戦略部観光 DX 担当部長

芦田真亜氏（グループ1と合同実施）

【視察】おおさか ATC グリーンエコプラザ（環境ビジネスに関する展示場）、天龍寺、嵐山

【ワークショップ】プログラム総括、アクション・プラン作成と報告会準備

グループ3：《農業（食の安全）》

【講義①】「環境、食の品質・価値と農業」

講師：元農林水産省、国際連合食糧農業機関（FAO）米野篤廣氏

【表敬訪問】福島県庁

【講義②】「福島県における農林水産業の復興状況について」

講師：福島県農林企画課 阿部裕氏

【講義③・視察】「農産物の循環流通」講師：株式会社銀嶺食品代表取締役 岡崎慎二氏

【講義④】「双葉町概要」講師：一般社団法人双葉郡地域観光研究協会代表理事 山根辰洋氏

（グループ4と合同実施）

【交流】学生団体 Rurio（福島県双葉町で活動する学生団体）及び JENESYS プログラム過去参加者（同窓生）（グループ4と合同実施）

【視察・体験】とみおかアーカイブ・ミュージアム（複合震災遺産を紹介するミュージアム）

高柴デコ屋敷（三春駒と三春張り子人形の発祥地）張子絵付け

（グループ4と合同実施）

【ワークショップ】プログラム総括、アクション・プラン作成と報告会準備

グループ4：《労働（人材育成）》

【講義①】「外国人の労働者受け入れと日本社会～日本とアジア諸国における人権・移民政策」講師：法政大学名誉教授 上林千恵子氏

【講義②】「私たちは、労働者だけでなく、住民でもある」講師：南相馬市役所総務課

ナサニエル・ハイムズ氏

【講義③・社内視察】株式会社ハニーズホールディングス、「人権方針の取り組みについて」

講師：常務執行役員管理本部長 佐藤成展氏、常務執行役員商品本部長 大内典子氏

【講義④】「双葉町概要」講師：一般社団法人双葉郡地域観光研究協会代表理事 山根辰洋氏

（グループ3と合同実施）

【交流】学生団体 Rurio（福島県双葉町で活動する学生団体）及び JENESYS プログラム過去参加者（同窓生）（グループ3と合同実施）

【視察・体験】とみおかアーカイブ・ミュージアム（複合震災遺産を紹介するミュージアム）

高柴デコ屋敷（三春駒と三春張り子人形の発祥地）張子絵付け

（グループ3と合同実施）

【ワークショップ】プログラム総括、アクション・プラン作成と報告会準備

グループ5：《都市（開発）》

【講義①】「東南アジア地域における都市交通問題」

講師：東京大学大学院新領域創成科学研究科特任教授 中村文彦氏

【講義②】「活動報告」講師：国連ハビタット福岡本部（都市化と居住の問題に取り組む国連機関）本部長代理 ブルーノ・デルコン氏

「環境技術事業」講師：国連ハビタット福岡本部長補佐官 星野幸代氏

【講義③】「北九州市国家戦略特区の取組について」

講師：北九州市企画調整局企画課特区担当係長 北尾多貴男氏、  
「北九州市水素事業について」

講師：北九州市環境局グリーン成長推進課主任 香月勇磨氏

【講義④】「北九州市環境国際協力について」

講師：北九州市環境局環境国際戦略課企画調整係  
(アジア・カーボンニュートラル・センター) 田中 碧氏

【体験】友泉亭公園 茶道、折紙

【視察】太宰府天満宮、九州国立博物館、北九州市環境ミュージアム、  
スペース LABO 北九州市科学館（東田ミュージアムパーク内）

【ワークショップ】プログラム総括、アクション・プラン作成と報告会準備

2月27日（月曜日）【報告会】訪日成果、帰国後の活動計画、行動宣言発表

2月28日（火曜日）成田国際空港又は羽田空港より出国

### 3. プログラム記録写真

#### ■ 事前学習（オンライン）

	
8月30日【ウェビナー】日ASEAN関係	8月30日【記念撮影】

#### ■ 訪日プログラム

##### グループ共通

	
2月22日【講義・質疑応答】 「日本ASEAN50年の歩み」	2月22日【交流】外務省若手職員との意見交換

グループ1 《観光（開発）》

	
<p>2月23日 日本の若手リーダーとの記念撮影</p>	<p>2月23日【講義】「地域の暮らしを支える観光」</p>
	
<p>2月24日 【講義】「2025年日本国際博覧会」</p>	<p>2月25日 【視察】大阪城</p>

グループ2 《インターネット（活用）》

	
<p>2月23日 日本の若手リーダーとの記念撮影</p>	<p>2月23【意見交換】 「デジタル世界における著作権」</p>
	
<p>2月23日【視察】東京大学</p>	<p>2月26日【ワークショップ】</p>
	
<p>2月25日【視察】 おおさか ATC グリーンエコプラザ</p>	<p>2月25日【視察】大阪市内</p>

グループ3 《農業（食の安全）》

	
<p>2月23日 日本人若手リーダーとの質疑応答</p>	<p>2月23日 【講義】「食の品質・価値と農業」</p>
	
<p>2月24日 【表敬訪問】福島県庁表敬</p>	<p>2月24日 【視察】株式会社銀嶺食品</p>
	
<p>2月25日 【視察】 とみおかアーカイブ・ミュージアム</p>	<p>2月25日 【講義】「双葉町概要」</p>
	
<p>2月25日 【双葉町視察】ガイドと一緒に</p>	<p>2月26日 【体験】張子の絵付け</p>
<p>グループ4 《労働（人材育成）》</p>	
	
<p>2月23日 【若手リーダーとの交流】</p>	<p>2月23日 【視察】東京大学</p>

	
<p>2月23日【講義】 「外国人の労働者受け入れと日本社会」</p>	<p>2月24日【講義】 「私たちは、労働者だけでなく、住民でもある」</p>
	
<p>2月24日【視察・講義】 株式会社ハニーズホールディングス</p>	<p>2月25日【交流】学生団体 Rurio</p>
	
<p>2月26日【ワークショップ】</p>	<p>2月26日【体験】張子絵付け</p>
<p>グループ5 《都市（開発）》</p>	
	
<p>2月23日【視察】浅草</p>	<p>2月23日 日本人若手リーダーとの意見交換</p>
	
<p>2月23日【講義】 「東南アジア地域における都市交通問題」</p>	<p>2月24日【講義】国連ハビタット活動</p>

	
<p>2月26日【視察】 北九州市環境ミュージアム視察</p>	<p>2月26日【視察】 スペース LABO 北九州市科学館</p>
<p>グループ共通</p>	
  	
<p>2月27日【報告会】発表の様子</p>	

#### 4. 参加者の感想（抜粋）

##### ◆ マレーシア 大学生

このプログラムは、日本に留学したいと考えている ASEAN 諸国の人々にとっては大変参考になります。講義は私にとって非常に有益でした。私は日 ASEAN 関係の歴史についての書籍を読んだことがありましたが、今回のプログラムを通して、歴史についての理解が深まっただけでなく、50年間の歩みの中で互いが築いてきた信頼関係についても理解することができました。

##### ◆ ベトナム 大学院生

日本と ASEAN の協力関係について多くを学ぶことができました。さらに、本プログラムに参加して、友人が増えました。参加者交流では、私たちが今後、主要な役割を果たすことが期待される日本と ASEAN の協力関係促進をテーマに話し合いました。

##### ◆ フィリピン 社会人

まさに交流プログラムの目的や本質が具体化されたプログラムです。日 ASEAN 関係のさらなる進展に向けて、参加者が個々に学ぶだけでなく、ここで得た知識を活用して自国の人たちと共有し、今回出会った人たちとのネットワークを広げていきたいと思えます。

##### ◆ シンガポール 高校生

北九州市への訪問では、環境等に関する施策についてだけでなく、その背後にある歴史やメカニズムについても学ぶことができ印象に残りました。その施策が人々、政府、企業、そして環境にどう影響するのかなど、全体的なアプローチを学べる経験となりました。

##### ◆ マレーシア 大学生

福島県庁を訪問した際に、2011年の地震と津波の災害からの県による復興プロセスについての講義を聞きました。わずか10年間で復興が進んだ様子を見ることは非常に心に響きました。福島県は、素晴らしい回復力で、世界的に認知されるまでの農業県に復帰しました。

◆ ベトナム 大学生

東京大学への訪問は本当に感銘を受けました。私たちのグループは、中村教授から ASEAN の都市交通とマース (MaaS) モデルについて講義を受ける機会がありました。東京大学は世界中の学生にとって学問的にも学ぶ環境としても理想的な場所だと思います。

5. 受入れ側の感想 (抜粋)

◆ 講師

参加いただいた方々からたくさんご質問いただき、刺激になりました。今後は講義形式だけでなく、お互いについて知ることができるようなプログラムにするために、参加者側についての事前に聴取等ができれば、より有意義なプログラムになると思いました。また、京都ならではの文化財や宿泊施設等の視察を兼ねたプログラム等も検討できればと思いました。

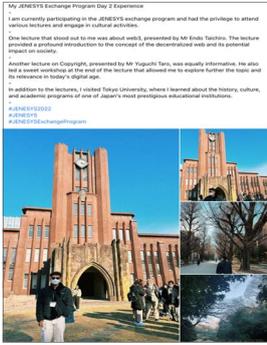
◆ 講師

大阪・関西万博 (2025 年日本国際博覧会)、TEAM EXPO 2025 について理解していただけるよい機会だったと思います。今後は、より興味を持っていただけるよう内容を改善しながら、海外の皆さまに万博を知っていただく機会に出来ればと思いました。

◆ 講師

とても洗練されたプログラムで、且つ雰囲気もとても良く、私自身圧倒されました。対面でしか体験できないような一体感を感じました。参加者の方々の聞く姿勢や質問の積極性には大変感銘を受けました。

6. 参加者の対外発信 (抜粋)

	
<p>2月23日 (Instagram) 私は、JENESYS プログラムに参加して、様々な講義を聴講し、文化的活動をする機会に恵まれました。特に印象に残っていることは、遠藤太郎准教授による「web3 と自立組織」についての講義です。分散型ウェブの概念とその社会への潜在的な影響について深く紹介いただきました。また、湯口太郎氏による著作権に関する講義も、大変有益なものでした。講義後のワークショップは素晴らしいものでした。</p>	<p>2月25日 (Facebook) プログラムの4日目は、日本の大阪にある大阪城公園に行きます。建物の美しさと歴史的背景を感じられる、最も記憶に残る体験のひとつです。豊臣秀吉は、徳川にとって代わられる前に天下統一の印として城を築いていました。</p>

グループ課題と今日のデジタル時代における関連性について、さらに深く掘り下げることができました。更に日本で最も権威のある教育機関の一つである東京大学を訪問し、歴史、文化、教育プログラムについて学びました。



2月26日（Instagram）今日は、郡山市にある高柴デコ屋敷を訪問しました。デコ屋敷は、三春張り子人形（みはるにんぎょう）の発祥地とされています。私達はここで、だるまの絵付け方法を体験しました。日本の伝統文化と各参加者のアイデアを融合させて作品を作るという素晴らしい経験をする事が出来ました。

2月26日（Instagram）津波による東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響を受けた福島県双葉町を訪れる機会を得ました。地震後の原発事故で、何万人もの人々が福島の家を追われ、別の場所に住むことを余儀なくされました。双葉町は昨年、ようやく避難指示が解除され、復興に向けて歩み始めたばかり。双葉駅のこの写真、右側の建物は再建されたもの、左側にのみ双葉駅の元の建物が残っています。その建物には、地震発生時刻の午後2時46分に止まった「からくり時計」が残されています。

## 7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表（抜粋）

### グループ1 《観光（開発）》

#### OUR SOLUTION

**SUGGEST Programs**

Integrate a sense of belonging & responsibility in students.

**HOST Competitions**

Encourage students to participate in competitions/events hosted by established companies.

**OUTLINE Activities/Workshop s**

Cultivate habits through interactive hands-on experiences.

**DISSEMINATE Media**

Educate the general public on proper waste disposal method & negative impacts of littering.

#### BENEFITS OF HOSTING COMPETITION

Competitions that provoke thoughts in students to come up with innovative ideas & solutions for waste management or littering.

- Recycling competitions held by companies such as Sembwaste (SGP)
- In collaboration with UNDP Accelerator Labs

Students to challenge themselves and let their innovative ideas be recognised nationwide.

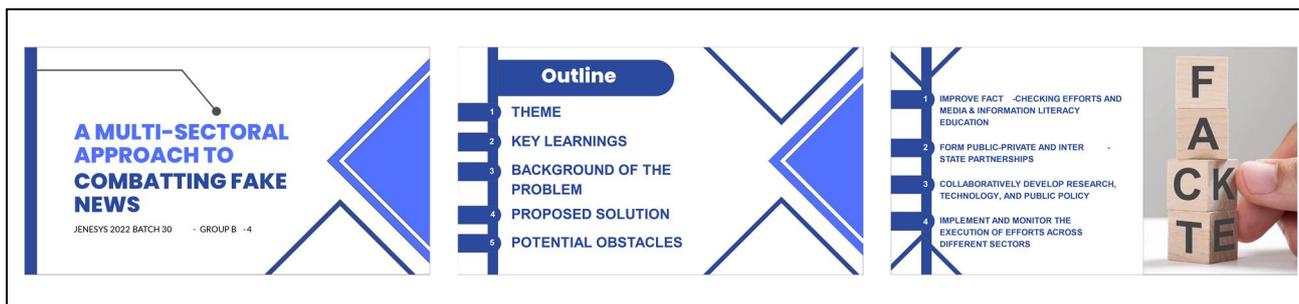
#### FUN FACTS on RECYCLABLES

- ♻️ Unclean recyclables contaminates
- ♻️ Not All Plastics Are Recyclable
- ♻️ Broken Glasses are NOT Recyclable
- 💡 Lightbulbs
- 🔩 Metal Accessories
- 🗑️ Electronic Wastes

■ 私たちの課題解決策

- 各国の学生の地域への帰属意識と責任感を醸成するためのプログラムを提案します。
- 活動及びワークショップの概要：体験型ワークショップで環境に良い習慣を身につける活動を行います。
- 競技会の開催：実績ある企業の協賛による、「ごみ分別がわかりやすいゴミ箱デザイン」などのコンテストや環境問題を考えるためのイベントに学生が参加するように促します。
- メディアを通じて周知：一般の人々にゴミの適切な処理方法とポイ捨てが与える悪い影響について周知します。

グループ2 《インターネット（活用）》



■ プログラムでの学び：インターネットの負の側面と新しい技術の可能性

- 私たちの提案：フェイクニュースは、インターネット上だけに留まらず、現在、社会問題のひとつである。グループで意見交換や討論をした結果、以下を解決策として提案します。
- 短期的解決策：事実確認活動を強化し、メディア及び情報リテラシーを向上させます。
- 長期的解決策：官民の協力体制を構築すること。そして、フェイクニュースに対する包括的な政策の実施を支援する技術やプラットフォームを開発すべく、国家間の協力体制を強化します。

グループ3 《農業（食の安全）》（訪問地：東京都、福島県）



『環境に配慮した農家を東南アジアで普及していくために我々ができること』

- 課題：東南アジアで環境に配慮した農家を増やすにはどうすればよいか。
- 対象と目標
  - 対象者：農家と若い世代／地方自治体／国内コミュニティと政府
  - 目標：一般の人々及び農家の人々の意識を高め、さらに多くの人々に農業への関心を持ってもらうこと
  - 期待される成果：持続可能な農業への関心
- 解決策: 教育と意識向上
  - ① ステージ1：農家と若い世代を対象にそれぞれの現状を理解し、農家に持続可能な農業を取り入

れ、若い世代が持続可能な農業に参加するよう意見交換、ワークショップ、デジタルプラットフォームを通じて醸成を促します。

- ② ステージ2：若い世代が農家を訪問し現状把握、理解、持続可能な農業への転換を実行できるようなパートナーシップとの協同を促します。

考えられる結果：

1. 市民と農家の意識の向上、2. 農業分野への新規参入の促進、3. サステナビリティ

グループ4 《労働（人材育成）》（訪問地：東京都、福島県）



『訪日団の国々で男女の賃金格差解消を実現する為のアクション・プランについて』

“Employ Her”「女性雇用促進の為の教育・啓蒙プログラム」を提案します。

- 対象：より影響力のある解決策を検討していくために女子生徒（15歳から18歳）とします。進学をせず低学歴で早くに就職する女子生徒に働きかけを行います。
- 目標：就職前により良い雇用条件を模索し、はじめから公平な報酬を得られることを目指す。
- 実施内容
  - ・ デジタルツールにアクセスする機会が少なく、英語力なども低い女子生徒を啓蒙します。
  - ・ このプログラムでは女子生徒が、雇用に於ける労働者としての権利、報酬の構造などを理解し、賃金や昇進で差別の対応、職場でどのようにして声をあげるかなどを学びます。

グループ5 《都市（開発）》



- このプロジェクトの主体になるのは、政府、NGO、プライベートセクター、そして個人です。すべての関係者は、最良の結果を生み出すために貢献することができます。福岡方式（福岡市と福岡大学が共同開発した廃棄物処理方法）は、低コストでシンプル、環境的に持続可能であり、様々な状況に適応でき、21カ国で適用されています。専門家と訓練を受けたスタッフにより、このプロジェクトは1年以内に実施する計画です。

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）

協力団体名：特定非営利活動法人 MIS（Multilateral Interaction with Students）